

福井県公安委員会 開催概要

令和8年7月16日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 令和8年上半期の刑法犯等認知・検挙状況

県警察から、令和8年上半期刑法犯等認知・検挙状況について報告があった。

各委員から、「詐欺の手口は非常に巧妙かつ複雑で、テレビやニュース等で取り上げられているにも関わらず、言葉巧みに誘導されてしまうケースが多く見られる。啓発活動を拡充するには、警察、自治体、住民が連携して継続的に情報発信できる仕組みを整えることが必要と考える。」、「特殊詐欺は被害に遭うと被害額の殆どが戻ってこないケースが多く、本当に憎むべき犯罪だと感じる。警察だけの取組では限界があるため、国民全体でこの問題の深刻さを理解してもらい、全国規模での対策の推進が必要と考える。」、「福井県は継続して高い検挙率を維持しており、改めて警察職員の活動に感謝申し上げる。少年審判に携わった経験から申し上げれば、少年は罪の自覚を持っていない場合も多く、幼少期からの教育を充実させる必要性を感じる。今後も、事件検挙・情報共有・地域啓発活動を総合的に推進し、犯罪防止と被害者支援に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(2) 令和8年上半期の交通情勢

県警察から、令和8年上半期の交通情勢について報告があった。

各委員から、「自転車のヘルメット装着推進に力を入れた結果、学生を中心に理解は進んでいると思うが、装着率向上には暑さ対策が必要と感じる。自転車ピクトグラムの導入は効果的だが、現在は県内の限られた場所にしか設置されていない。今後、県下全域に導入を拡大し、視覚的な注意喚起による効果を更に高めていただきたい。」、「先般、警察署が行う交通安全説明会に参加したところ、住民からの質問の時間がしっかりとられており、より理解が深まった。双方向でのやり取りが効果的であるので参考にしてもらいたい。個人的には、譲り合いの気持ちを持つことが事故防止につながると考えている。そうした寛容の精神が運転技術や危険予測、運転マナーの向上につながると思う。」、「高齢者の交通事故が減少しているのは広報・啓発活動の積極的な実施が功を奏していると考え。各地区でも交番や駐在所の警察官が交通安全教室を開催し、高齢者向けに分かりやすく教えてくれている。今後も、継続的な実施をお願いしたい。」旨の発言があった。



2 個別決裁等

(1) 集団行動に関する許可事務専決状況（令和8年6月分）

集団行動に関する許可事務専決状況（令和８年６月分）について説明を受け、これを決裁した。

（２）小型無人機等飛行禁止法に係る通報状況（４～６月）

小型無人機等飛行禁止法に係る通報状況（４～６月）について説明を受け、これを決裁した。

３ 運転免許の処分関係

本日（７月１６日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等７件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。